【国指定・史跡】

面縄貝塚（おもなわかいづか）

（平成29年２月９日指定）

赤線：今回指定する範囲

○　**所在地**　大島郡伊仙町大字面縄字中ノ当６４４番　外

○　**面　積**　３３，３７６．３０㎡

○　**特　徴**

面縄貝塚は，徳之島最南端の珊瑚礁の浅海に面した海岸砂丘上及び石灰岩地帯に立地する縄文時代後期（貝塚時代前４期）を中心とした集落跡です。

この遺跡は奄美・沖縄地域における海岸砂丘上及び石灰岩地帯に立地する集落の典型であり，九州島と沖縄地域との関係性の解明にとって重要な史跡です。